

中国語通訳への道

实用日语

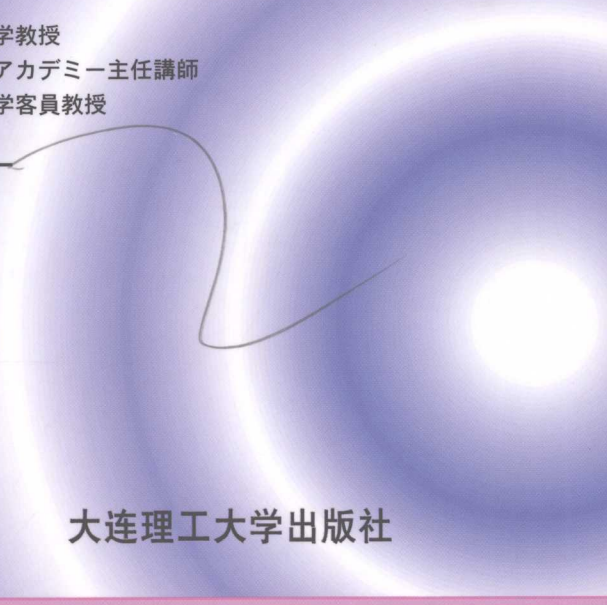
同声传译 教程

神田外語大学教授

サイマル・アカデミー主任講師

北京語言大学客員教授

塚本慶



大连理工大学出版社

H365.9/48

2005

实 用
日 语 同 声 传 译
教 程

塚本慶一 著

大连理工大学出版社

CHUGOKUGO TSUYAKU ENO MICHİ

by Keiichi Tsukamoto

Copyright (d) 2003 by Keiichi Tsukamoto

Original Japanese edition published by Taishukan Publishing Co., Ltd.

Simplified Chinese translation rights arranged with Taishukan Publishing Co., Ltd. through Japan Foreign-Rights Centre

© 大连理工大学出版社 2005

著作权合同登记号:06-2005 年第 92 号

版权所有·侵权必究

图书在版编目(CIP)数据

实用日语同声传译教程 / (日)塚本庆一著. —大连:
大连理工大学出版社, 2005. 6 (2007. 1 重印)

书名原文:中国語通訳への道

ISBN 978-7-5611-2895-4

I. 实… II. 塚… III. 日语—口译—教材 IV. H365.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 164019 号

出版发行:大连理工大学出版社

(地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023)

印刷:大连业发印刷有限公司印刷

幅面尺寸:140mm × 203mm

印 张:13.25

字 数:328 千字

出版时间:2005 年 6 月第 1 版

印刷时间:2007 年 1 月第 2 次印刷

责任编辑:宋锦绣

封面设计:孙宝福

责任校对:萧 音

定 价:25.00 元

发 行:0411-84708842

传 真:0411-84701466

邮 购:0411-84703636

E-mail: dutp@ dutp. cn

URL: http:// www. dutp. cn

序

21世紀に入り、中国は様々な分野に目覚ましい発展を遂げる中で、日中両国間の協力関係が一層強化拡大され、また、今後互い同士パートナーとしての交流はさらに大きく進展するであろう。

こうした時代背景に対する正しい認識を持ち、異文化への理解力及び双方のことばである中国語と日本語の高度な運用能力、そして通訳能力を兼ね備えた国際コミュニケーターとしての語学スペシャリストが今後ますます求められるのは必定であります。

そんな折に、大連理工大学出版社のお蔭で、拙著『中国語通訳への道』（中国語版《实用日语同声传译教程》）を中国にて出版することができましたことは、私にとって誠によろこばしいことであり、また時代の要請に応える意味で、きわめて意義深いものと考えている次第であります。

通訳者を志す皆さんが、日中間の交流活動の架け橋となられますよう切に願ってやみません。そして、より多くの関係者に一層のご理解とご協力を賜りたいと願っております。

なお、中国の皆さんにお読みいただけるように、大連理工大学出版社の関係者にご尽力いただきました。また、北京語言大学中日同時通訳コースの責任者で日本語学科の助教授の呉小瑾さんに労をとっていただきました。ここにあつく御礼を申し上げます。

神田外語大学・サイマルアカデミー

塚本 慶一

序 言

进入21世纪以来，中国在各方面都有显著发展，日中两国之间的合作关系也进一步加强并扩大，相信今后两国还将作为合作伙伴继续扩大交流。

在语言人才的需求中，这样一类人才将愈来愈受到人们的青睐，即：对这样一个时代背景有着深刻的认识、对双方的不同文化有着深刻的理解力和对双方的语言也就是说汉语和日语有着很高的驾驭能力，并且兼有翻译能力的国际型交流人才。

就在这样一个时候，承蒙大连理工大学出版社的厚爱，拙著《中国語通訳への道》（中文版名称《实用日语同声传译教程》）得以在中国出版，我感到非常高兴，而且从时代的需求这一点而言，我感到这本书的出版意义深远。

我衷心希望有志于翻译的各位读者能够成为日中交流的桥梁，同时也希望得到更多有关人士的理解与合作。

此外，为了便于中国读者阅读此书，大连理工大学出版社的相关人员尽了很大的努力，北京语言大学中日同声传译课程负责人日语教研室吴小瑾副教授付出了辛勤的劳动，在此表示深深的谢意。

神田外国語大学・サイマルアカデミー (Simul Academy)

塚本 慶一

まえがき

周知の通り、日中両国はたんに「一衣帯水」の近隣であるのみならず、遠く古代にまでさかのぼって2千年の永きにわたる交流の歴史があります。かつて6世紀の初め小野妹子がときの天皇の国書を携え、先駆者の心意気で隋の煬帝にこれを渡した、この遣隋使の中国派遣が日中交流の幕開けとなりました。

そして現在では、1972年の日中国交回復後、すでに30余年の歳月が経過しました。この間、中国の対外開放政策の進展、とくに2001年のWTO加盟、2008年の北京オリンピック招致や2010年の上海万博の開催など、中国が目覚ましい発展をとげる中で、日中両国間の協力関係が一層強化、拡大され、今日では「平和と発展のための友好協力パートナーシップ」を構築するに至りました。今後緊密な、かつ成熟したパートナーとしての両国の子々孫々にわたる交流が、大きく進展しようとしています。

このような時期にあたって私は、1962年に西ドイツのアデナウアー首相とフランスのドゴール大統領との間で結ばれた文化協定の中に「友好関係を増進するにあたり、両国はそれぞれ相手国のことばを広めるよう努力する」という項目が加えられていたのを想起せずにはいられません。

日中間における意思の疎通、理解の増進、友好の発展、各種ルートによる交流がまさに点の接触の時代から線へ、そして面へと広がっていく今ほど、そのかけ橋としての中国語通訳者に対する期待と役割が高まり、将来にむけての重要性が大きく叫ばれているときはないと思います。そんな折に、大修館書店の森田六朗さん、富永七瀬さんのお勧めにより、通訳の技法や現状およびその将来性に説明を加え、かつ現場で使われているテキストを整理し、系統的にまとめあげ、これから本格的な日中間のコミュニケーション活動の一翼としての役割を担えるようなものとして仕上げて欲しいという要請がありました。

かつて40代の私が旧サイマル出版会の田村勝夫社長から、中国語通訳に関する本を書くように勧められ、『中国語通訳』という名の本を出版してから早くも15年の歳月が経過しました。通訳関係や大学、専門学校で、また一般の読者にも幅広く読まれるように、との目論見が奏効したのか、増刷を重ねることすでに7回に及び、時代の変化に合わせて改訂することも考えておりましたが、諸般の事情により実現しませんでした。今回『中国語通訳への道』を上梓するにあたって、

この『中国語通訳』の内容を大幅に改訂しつつ、一部引き継いでおります。

そして一般の読者、とくにコミュニケーションに関心を寄せる人や、さまざまな国際活動にたずさわっている人には、中国語通訳の現状と関連情報を提供することによって中国語通訳に対する認識と理解を高めていただき、また中国語の学習者や中国語通訳者を志す皆さんには、有効なブラッシュアップに役立てられるように活用していただきたいと同時に、現役通訳者の皆さんには、今後それぞれの仕事をしていくうえで、いささかでも座右に置くに耐えうるものであることを願いながら、この本を世に送りたいと思います。

2003年 3 月

塚本 慶一

前 言

众所周知，中日两国不仅是“一衣带水”的邻邦，更有自古以来达两千年之久的相互交流的历史。且在6世纪初期，小野妹子携当时天皇的国书，以先驱者之气概将其转交于隋炀帝。就是这次的遣隋使揭开了中日交流的序幕。

1972年中日恢复邦交以后，到现在又已历经了30余年的岁月。期间，中国对外开放政策不断发展，特别是2001年加入WTO、2008年申奥成功及2010年上海举办万博会等，在中国推进令人瞩目的发展的同时，中日两国的合作关系也得到进一步的强化、扩大，今天更建立了“和平和发展的友好合作伙伴关系”。作为今后紧密而成熟的伙伴，两国世代代的交流将会有巨大的进展。

值此时节，不能不使我想起1962年（前）西德首相阿登纳与法国总统戴高乐之间缔结的文化协定中加入的一项条款，“当此增进友好关系之时，两国应共同努力推广彼此的语言”。

中日间想法的沟通、理解的增进、友好的发展、通过各种渠道进行的交流，正在由点接触的时代向线、乃至面接触上拓展。汉语口译人员作为沟通的桥梁，人们对其期待之高，其作用之大，对未来的重要性，从没有提到今天这样的高度。恰逢此时，大修馆书店森田六朗先生和富永七瀬先生劝说我，希望我能对口译技巧和现状及其前途加以说明，并且整理时下正在使用的教材，系统地加以总结，使其能够为今后真正的中日交流活动起到重要的辅助作用。

而且在我40多岁时，原サイマル出版会的田村勝夫社长建议我写一本关于汉语口译的书，取名为《中国語通訳》，该书出版至今，一晃已经过了15个年头。该书计划就是让口译相关人员和大学、专业学校及一般读者

都能阅读，也许是计划奏效，该书不断重印，增印至第七次时，我本想结合时代的变化加以修改订正，但由于诸事缠身，终未能实现。此次为了出版《中国語通訳への道》，我对《中国語通訳》的内容加以大幅度的修改和订正，同时，将一部分内容加以替换。

我希望这本书的问世，能通过提供汉语口译的现状和相关信息，帮助一般的读者，特别是对沟通感兴趣的人和活跃在国际舞台上的人，加深对汉语口译的认识和理解，也希望能帮助学习汉语的朋友和立志做汉语口译员的朋友们，能够利用此书提高自己的能力。同时，在本书出版之际，我衷心希望它对于口译人员来说能够成为经受住考验的一本小小的指南性读物，在他们今后各自的工作中起到一些作用。

塚本 慶一

2003年3月

目 次

序.....	III
まえがき.....	V
目 次.....	IX

【第Ⅰ章】通訳をめざす人へ

1. フィーリング.....	2
2. 通訳の世界へ.....	4
3. 心を伝える通訳者.....	6
4. 信頼される存在をめざして.....	8
5. 通訳者に求められる資質.....	10
6. 通訳になるには.....	14
7. 通訳教室の訓練風景.....	16
8. 中国語通訳の現状とその未来.....	26
【コラム】通訳者養成教室の授業風景.....	24

【第Ⅱ章】通訳の基礎

1. 通訳の歴史.....	34
2. 理想の通訳—信、達、雅.....	38
3. 翻訳と通訳の違い.....	42
4. 通訳作業のプロセス.....	44
[1] 聞き取ること.....	46
[2] 理解すること.....	48
[3] 表現すること.....	52
5. 通訳の種類.....	52
[1] 通訳の種類.....	54
[2] 通訳の形態.....	56
逐次通訳／同時通訳／時差通訳（時差同時通訳）／ウィスバリング	

【第Ⅲ章】通訳技能の基礎練習

1. 学習の心得.....	74
[1] 聴く.....	74
リスニング	
[2] 話す.....	76
声を出して読む／会話する／3S／3つの「声」	

[3] 読む.....	84
3 読	
[4] 訳す.....	86
思考力と判断力を養う／3つの「さ」	
2. 通訳の基礎練習.....	90
[1] クイック・レスポンス.....	92
[2] シャドウイング.....	92
[3] リプロダクション.....	98
[4] リテンション.....	100
[5] スラッシュ・リーディング.....	104
[6] サイト・トランスレーション.....	108
[7] サマライゼーション.....	114
[8] ノートテイキング.....	116
3. 通訳上達の心得.....	126

【第Ⅳ章】通訳の実践練習

1. 出迎え・案内	
[1] 空港での出迎え.....	132
《関連表現》出迎え側／相手側.....	136
[2] 日程紹介.....	140
《関連表現》接待側／相手側.....	142
[3] ホテル案内.....	146
2. 表敬訪問・歓迎宴会	
[1] 表敬訪問.....	150
[2] セレモニー・司会.....	154
《関連表現》.....	156
[3] 日本側の挨拶.....	160
[4] 中国側の挨拶.....	162
《関連表現》呼びかけ／冒頭／歓迎／感謝／光栄・感動／期待・目的／終わりに.....	166
[5] 歓談.....	174
《関連表現》接待側／相手側.....	182
3. 観光・案内	
[1] 東京百景.....	186
[2] 京都案内.....	200
《関連表現》日本の概況.....	206
4. 工場見学・会社紹介	
[1] 工場見学.....	220

[2] 会社案内	226
《関連表現》総合研究開発機構／東京証券取引所／コンビニエンス・ストア／日本の経営—人事管理について	232
5. 交渉・契約	
[1] 交渉	252
[2] 契約	256
《関連表現》交渉側／相手側／議論・討論表現集	260
6. シンポジウム	
[1] 司会進行	270
《関連表現》通知・発表／発言／討論・質疑応答／会議用語	272
[2] 講演①——21世紀の日中関係を考える	278
[3] 講演②——WTO加盟後の中日経済貿易発展の前途	288
《関連表現》日本の環境政策と今後の課題／北京の環境汚染防止のための対策と措置	296
7. インタビュー	
[1] 日本の印象について聞く	312
[2] 伝統演劇の日中交流について聞く	318
《関連表現》質問者側／相手側	326
8. 帰国挨拶	
[1] 見送りのことば	330
[2] 答礼のことば	332
《関連表現》見送り側／相手側	334
9. スピーチ集	
[1] 周恩来総理	340
[2] 邓小平副総理	344
[3] 楊尚昆主席	350
[4] 朱鎔基総理	354
[5] 江澤民主席	358
【コラム】新語・流行語	198
挨拶のアラカルト	362
漢詩23選	144 / 148 / 149 / 180 / 236 / 237 / 244 / 245 / 258 / 259 / 295 / 301 / 310 / 316 / 317 / 324 / 336 / 337 / 348 / 349 / 352 / 356 / 357

【第Ⅴ章】通訳資料集

1. 日中通訳者の常識

[1] 国 情	366
---------	-----

[2] 中国の祝祭日	366
[3] 中国現代史・日中関係年表／日中間の主な条約・協定	367
[4] 日中対照年表	368
[5] 中国国家機関組織図	369
[6] 中国共産党組織図	369
[7] 日中間の友好都市提携	370
[8] 政策・スローガンなどのキーワード	371
[9] 条約・共同声明	372
(1) 日本国政府と中華人民共和国政府の共同声明	372
(2) 日本国と中華人民共和国との間の平和友好条約	375
(3) 平和と発展のための友好協力パートナーシップの構築に関する日中共 同宣言	378
2. 通訳者の情報源	
[1] マスメディア	385
(1) 新聞	385
(2) テレビ番組	385
(3) ラジオ番組	385
(4) インターネット	385
[2] 参考図書	386
(1) 辞書・事典関係	386
(2) 雑誌・ムック関係	387
(3) 通訳・翻訳関係参考書	388
(4) 中国語学関係	388
[3] 日中間の主な交流窓口	389
[4] 通訳関連の各種資格試験	392
[5] 通訳者養成機関	393
[6] 通訳エージェント	395
3. 参考資料	
[1] 国名（地域）・首都	396
[2] アメリカ合衆国 州名一覧	400
[3] 世界の企業・ブランド	401
[4] 映画・アニメーション	402
[5] 国際組織・会議・条約・協定	404
[6] メディア	404
あとがき	406

【第Ⅰ章】

通訳をめざす人へ

I章では、通訳者を志す皆さんに、通訳者とはどういう存在か、どのようにあるべきかということについて正しく認識していただくために、私の経験談を交えながら、通訳という職業に様々な面からアプローチしています。これまで皆さんが漠然と想像していたものとは少し違う通訳者像が見えてくると思います。また、多くの方が興味を持っていると思われる、現在の中国語通訳者を取りまく具体的な状況、通訳者養成学校の様子などについても触れています。

写给立志做口译的人

在第一章里，为使立志做译员的人们正确认识到译员是怎样一个角色以及应该怎样去做，我想在加上一些我个人的经验之谈的同时，就口译这个职业的各个方面做一些探讨。在这里各位看到的译员的形象也许会不同于以往的模糊认识。而且，这里会涉及到一些汉语译员置身于其中的大环境的现状，以及译员培训的学校的情况，想必大家对这些普遍都很感兴趣。

1. フィーリング

私が、通訳養成学校・サイマル・アカデミーの中国語通訳者養成コースで授業を仰せつかる事になったのは、まだ30代前半のことでした。以来、20年あまり、新学期のはじめに「フィーリング」という曲を流す習慣がすっかり定着し、慣例となってしまうしました。

なぜ「フィーリング」なのでしょう。

フィーリングとは「感覚、心地、気分、感情、情操……」（『広辞苑』）を意味します。つまり、通訳者に求められる不可欠な要素——それがこの「フィーリング」だと思うからです。私自身の経験から、また先輩諸氏の貴重な体験談から導き出された一つの結論とも言えるでしょう。

- ① ことばを鋭く的確に受け止める力
- ② 心のこもった豊かな表現力
- ③ その場の雰囲気馴染む（調和する）

これらの「フィーリング」を持ち合わせていなければならないのです。

さらに、通訳には敏捷な反応が求められます。反応が敏捷でなければ、要領を得た、明快かつリズムミカルな訳がスムーズに出てきません。話し手のタイミングを狂わせ、話の流れを止め、その場の雰囲気を壊し、話し手をイライラさせてしまうことにもなりかねません。

また、通訳者の「感情」が豊かであれば、美しい中国語の発音と的確な表現でその場を盛り上げ、通訳者のペースに巻き込んでしまうことさえ可能なのです。

話の微妙なニュアンスまで瞬時にして正確に理解し、さらに話し手が言外に意味するところ、つまり話し手の気持ちをも受けとめて的確な訳語を選択すれば、より滑らかで豊かな表現ができます。話し手がどもれば、通訳者もいっしょにどもってしまうようになってこそ、その場の雰囲気をいっそう盛り上げることができのかも知れません。

このように誠実で的確な通訳を心がけていれば、おのずと話し手からも信頼され、「あの通訳者なら絶対安心」というお墨付きをいただくのも夢ではありません。

今年もまた、最初の授業に「フィーリング」を流し、通訳者をめざす人びととともに「フィーリング」のもつ意味をかみしめています。教室には、第一線の通訳者をめざす20代の新卒者から、第二線にひきさがることを潔しとしない60代の定年退職者までがひしめいています。大学の教室でも、まだ未熟ながら次代をに

1. Feeling (フィーリング)

我受命执教于译员培训学校“サイマル・アカデミー (SIMUL ACADEMY)”的汉语译员培训班的时候，刚刚三十出头，至今已有二十多年了。我们在新学期开始时肯定会播放《Feeling》这首曲子，这已经成为了我们的一个惯例。

为什么要播放这首《Feeling》呢？

Feeling (フィーリング) 意为“感觉、心情、情绪、感情、情操”（《广辞苑》）。就是说，正是这个Feeling，体现出了作为译员所不可缺少的要素，我是这样认为的。这也可以说是由我自身经验和诸位前辈的宝贵经验中总结出的一个结论吧。我们必须掌握好这样的Feeling：

- ①对语言敏锐准确的理解能力
- ②细腻而丰富的表达能力
- ③对现场气氛的适应能力（与其保持和谐）

再说进一步说，就是口译需要敏捷的反应能力，如果反应不够敏捷，就不能顺利地抓住要领，清晰明了而有节奏地翻译出来。而且还有可能打乱发言人的节奏，打断讲话势头，破坏现场气氛，让发言人感到很烦躁。

然而，如果口译人员“感情”丰富的话，甚至有可能通过悠扬的汉语发音和一矢中的的表达而使现场气氛热烈起来，并使自己显得游刃有余。

如果能在一瞬间就正确地理解了话里微妙的差别，并且能够理解发言人的言外之意，也就是发言人的心情，然后选择准确的话加以翻译，表达就会更加流利、丰富。如果讲话人结巴，翻译也许只有跟着结巴，这样才能进一步带动起现场的气氛。

若能如此诚实用心地做出忠实准确的翻译，那么你自然而然地就会得到发言人的信赖，那么，得到“那个翻译绝对让人放心”的口碑，也不是可想而不可及的事情。

我们今年还是在第一次课上播放了《Feeling》，和立志做译员的人们一起深深体味了它的含意。在这个满满的教室里，既有想要成为第一线译员的二十多岁的新毕业生，也有不甘心退居二线的六十多岁的退休人员。而在大学的教室里也有虽不成熟但却肩负着新时代的年轻人，他们的双眼都闪着光辉。大家

なう若者が目を輝かせています。いずれも互いをよきライバルとして励まし合いながら、これからの人生に厳粛かつ真剣に取り組もうとする人ばかりです。

通訳者をめざすあなた、なにごととも最初が肝心というではありませんか。ぜひこの「フィーリング」をともに歌って「心を伝える通訳者」への第一歩を踏み出そうではありませんか。

2. 通訳の世界へ

1979年1月9日、歌舞伎訪中使節団に随行した私は、ウランフ全人代副委員長（その後国家副主席）、王震副総理（その後中日友好協会名誉会長）ら中国側の要人に劇のプロットを通訳していました。

舞台では北京メディアも“艺术大师（大师＝「巨匠」の意）”として大きく報じた尾上梅幸氏おのえばいこうが艶やかな獅子舞を繰り広げています。そのとき、舞台の袖から一人の黒子くろこが上がってきて、梅幸氏の舞台衣装をてきぱきと取り替えはじめました。その手際てぎわは実に鮮やかで、着替えが終わったあとの素早くしかも目立たない身の引き方も見事なものでした。歌舞伎は初めてという観客が多い客席からは、黒子の突然の出現に笑い声も聞こえましたが、あっという間にそれが拍手に変わったのです。そして、すぐ後ろの客席から「黒い服を着た人の動作はてきぱきしていて、見ごたえがある」という声が聞こえてきました。

当日のプログラムに「黒子」の説明がありました。

「約束事として、黒衣の者は実在しないもの、見えないものとする。全身黒装束をまとっているのが黒子と呼ばれる。」（按約定俗成的規定，把黑衣当做实际不存在和看不见的人物。因全身黑装，故称黑衣。）

私の中で黒子の存在がとても気になり始めていました。

一週間にわたる北京公演中、いく度か黒子に接し、話を聞く機会にも恵まれました。舞台の袖に立った彼はまず深呼吸をし、タイミングを計って出番をじっと待つ。舞台で衣装替えが終わると、それを見定めてすばやく袖に引き、もう一度確認してからはじめて楽屋に戻って黒装束を脱ぎます。現れたその素顔からは、一種のすがすがしささえ伝わってきました。

黒子の役割について、彼の話をおなりに表現すると、「一刻を争ってすぐれたものを引き出すこと、しかも決して主客転倒しないこと」となります。ここで思い出したのは村松増美氏のことばでした。「よく通訳は歌舞伎の黒子と同じだといわれますが、まったくそのとおりで、黒子が前にしゃしゃり出てしまっては舞